

中学生の「税についての作文」

大川市長賞

税で広がる暮らし

大川市立大川桐英中学校

二年 大 城 咲 里

私たち人間は一人では生活していくことができません。だからこそ普段から、たくさんの人と支え合いながら過ごしています。家族であつたり友達であつたり。お互いを頼りに日々生活していますよね。それに加え、私たちの普段の暮らしの大きな支えとなっている存在が一つあります。それが税金です。では、主に税金は私たちをどのように支えてくれているのでしょうか。

日本国民は大人になる前にみんなが義務教育を受けます。その際、授業を受けやすい環境や設備が整っていますよね。そのような学校へ通うことができるのも、たくさんの方により納められた税金のおかげなんです。また、四年前の春、コロナウイルスが流行り世界的に問題となりました。その時、日本国内では様々な感染症対策が行われたり、給付金が配布されたりしました。このお金も税金により営まれているのです。外を走る消防車や救急車だつて税金で走っています。また、地球上で暮らす以上、様々な災害が起こりうるでしょう。

特に日本は地震も多く、数十年前に起きた東日本大震災や今年元日に起こった能登半島地震などたくさんの方が被害を受けてきましたよね。その度に救援物資を配布したり被害を受けた町の修復を行つたりするのも税金が使われています。

これまでいくつか税金の役割について紹介してきました。そこで気がついた人もいるかもしれません。税金は私たちの命までも支えてくれているのです。みなさん一度は税金に対して、「高いな」という印象を持ったことがあると思います。そして、私もその一人です。でも、私はこれから税金と共に生きていかなければならない上で忘れないでほしいことがあります。私達が日本で暮らしていく中で税金は必要不可欠な存在だということです。私達の過ごしやすい環境は税により広げられていることに感謝を覚えることで税への印象は少しずつ変わるのではないかと私は思います。

